

今後の産業教育の在り方について 答申【概要版】

諮問内容	今後の産業教育の在り方について
	1 急激な少子化の進行など社会状況の変化に対応した専門教育の在り方について 2 予測困難な時代に求められる資質・能力を育成する専門学科構成について

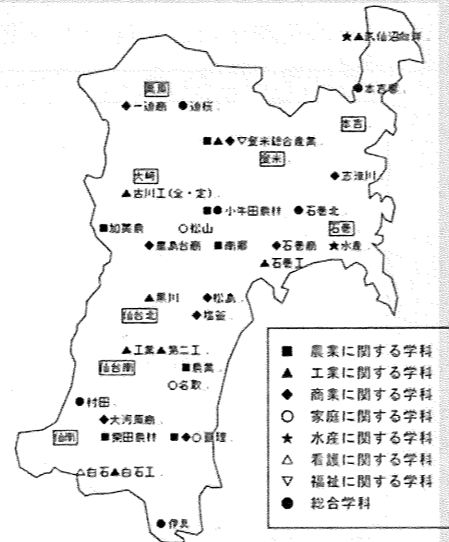
- 背景**
- 技術革新による Society5.0 時代の到来
 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大
 - 令和4年度から新学習指導要領の実施
 - 人口減少・少子高齢化による産業の担い手不足の懸念

第1章 本県産業教育を取り巻く現状と課題

1 本県産業教育の現状

- 専門学科の設置状況(県立:全日制)
 - ・ 農業学科7校, 工業学科7校, 商業学科9校, 水産学科2校, 家庭学科3校, 看護学科1校, 福祉学科1校の30校を設置
 - ・ 総合学科を有する学校6校を設置, 農業分野, 工業分野, 商業分野, 家庭分野, 福祉分野の系列を設置
- 進路状況(令和3年5月現在)
 - 県全体の卒業後の就職者の割合は, 25.2%, 進学者の割合は, 72.2%
- 専門高校の募集定員は, 計3,760人で, 県立全体の26.5%, 総合学科は計840人で県立全体の5.9%(令和3年度)
- 専門高校においては, 看護学科以外は定員割れが続いている。

専門学科設置状況(県立(全・定))



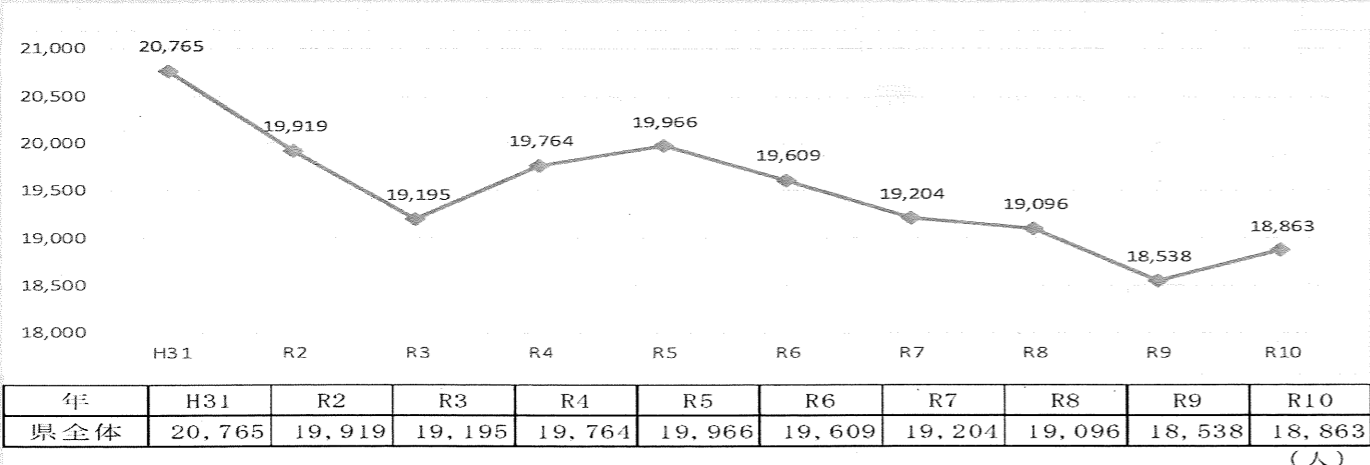
2 本県産業教育の課題

- 中学生や保護者等の専門学科・専門高校に対する認知度の低さ
 - 志願者の確保
 - 社会の動向や産業構造の変化への対応
 - 少子化による生徒数減少への対応
- 本県全体: 人口減少により, 中学校卒業見込数の減少
平成31年度 20,765人 ⇒ 令和10年度 18,863人(約2,000人の減少見込)

	生徒数	全体の割合
普通科	23,905	68.1%
産業系専門学科	7,686	21.9%
総合学科	2,127	6.1%
普通系専門学科	1,388	4.0%
総計	35,106	100.0%

全日制在籍生徒数の学科別割合

中学校卒業生見込数推移



第2章 これからの本県産業教育の在り方

1 社会の変化に対応した人材育成

(1) 生徒の資質・能力の育成

- ① 専門学科・専門高校で求められる基礎的・基本的な資質・能力の育成
 - 基礎学力の定着, 基礎的・基本的な知識及び技術の習得
 - ふるさと宮城への愛着や誇り
 - 東日本大震災からの復興を支え, 課題解決に向け, 粘り強く学び続ける意欲と態度
 - 社会人, 職業人として必要な礼儀やマナーの習得, 倫理観の醸成
- ② 次代の産業を担う人材に必要なとされる資質・能力の育成
 - 最先端の知識及び技術を学び, 各学科の特性に応じたICT利活用能力
 - 各専門分野における幅広い知識と高い技術を持ったスペシャリストの育成
 - 専門領域が複合化する中で, 専門性を基盤としながらも専門分野の枠を超えた知識及び技術を身に付けたゼネラリストの育成の視点の重要性
 - 起業家精神と経営感覚を併せ持つ職業人の育成
 - SDGsの実現に貢献し得る担い手の育成

(2) 教員の指導力向上

- 先端技術を扱う企業や高等教育機関と連携したスキル向上の機会の確保
- 産業界など関係機関と学校をつなぐ役割を担うためのコーディネート力, ファシリテーション力, マネジメント力の向上
- 地域連携, 産学官連携を担うコーディネーターや専門部署等の設置が望まれる

(3) 産業教育に必要な施設・設備の整備

- 令和3年度「スマート専門高校の実現」による最新の機器を整備
- 県内関係機関既存の施設・設備等の活用や学科間, 学校間の施設・設備の共有・協力体制

2 地域や産業界等との連携

(1) 産業界・高等教育機関等との連携

- 産業界や高等教育機関と連携・協働し, 本県産業を支える人材の育成を見据えた, 教育課程の編成及び実施
- 産業界や高等教育機関の最新の施設・設備, 外部人材の活用による知識及び技術の習得

(2) 地域協働・地域活性化の推進

- 地域理解を深め, 郷土愛を育み, 地域との連携を通じたコミュニケーション能力や自己有用感の醸成
- 地域の伝統文化・技能の継承
- 高校生の視点から地域の課題を発見し, 課題解決方法の思考, 持続可能な活動の実現

(3) 学科間連携・学校間連携

- 小・中学校を対象に, 産業教育に関する様々な体験の機会や情報の提供
- 産業教育の学びの成果を小・中学校や他校にも還元
- 各学科の特色を活かした専門高校間での交流, 学校や学科の枠を超えた学校間連携

3 専門高校・産業教育の理解促進

(1) 時代のニーズを踏まえた教育課程の充実

- ① スクール・ミッション/スクール・ポリシー策定及び運用
- ② 急激な社会の変化に柔軟に対応できる教育課程編成 ~「社会に開かれた教育課程」~
- ③ キャリア教育の充実 ~志(こころざし)教育の推進~

(2) 魅力を伝える方策

- ① 専門教科の学びや職業に関する理解を深める機会の創出と提供
 - オープンキャンパスや学校説明会を通じた産業教育や職業に関する理解促進
- ② 多様なツールを活用した情報発信やPR動画の制作
 - 学校案内, 学校WebページやSNSを効果的に活用した魅力の発信

第3章 各学科における学びの在り方

1 専門学科における共通の学びの視点

(1) 多様な進路選択への対応

- 就職、進学両面に対応した進路体制づくり
- 社会人・職業人に必要な礼儀やマナーの習得、倫理観の醸成

(2) 課題解決型学習の推進

- 「総合的な探究な時間」等により、自ら課題を発見し、課題解決の方策について、探究し創造的に解決する力を育むため、教科の枠を超えた横断的・総合的な学習の推進
- 実践的・体験的な課題解決学習の機会の適切な設置

(3) ICT利活用能力の育成 (Society5.0への対応)

- 基礎知識やリテラシーなど、ICT利活用能力の習得
- 産業界のニーズを踏まえた、デジタルトランスフォーメーション(DX)など、新たな社会を創造していくために必要な力の育成

(4) グローバル化への対応

- 多様な価値観や異文化を理解した共生・協働
- 産業教育における英語力向上に向けた取組の検討

(5) 危機管理能力の育成

- リスクの認知・予測、回避など危機管理能力の育成
- 東日本大震災の教訓の踏まえた災害対応能力の向上

2 主な学科の学び

(1) 農業に関する学び

安定的な食料生産の必要性や農業のグローバル化への対応など農業を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、農業や農業関連産業を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成することを目指す

(2) 工業に関する学び

安全・安心な社会の構築、職業人としての倫理観、環境保全やエネルギーの有効な活用、産業のグローバル競争の激化、情報技術の技術革新の開発が加速することなどを踏まえ、ものづくりを通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成することを目指す

(3) 商業に関する学び

経済のグローバル化、ICTの進歩、観光立国の流れなどを踏まえ、ビジネスを通して、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成することを目指す

(4) 水産に関する学び

水産物の世界的な需要の変化や資源管理、持続可能な海洋の利用など水産や海洋を取り巻く状況の変化を踏まえ、水産業や海洋関連産業を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成することを目指す

(5) 家庭に関する学び

少子高齢化、食育の推進や専門性の高い調理師養成、価値観やライフスタイルの多様化、複雑化する消費生活等への対応などを踏まえ、生活産業を通して、地域や社会の生活の質の向上を担う職業人を育成することを目指す

(6) 看護に関する学び

少子高齢化の進行、入院期間の短縮、在宅医療の拡大などを踏まえ、看護を通して、地域や社会の保健医療福祉を支え、人々の健康の保持増進に寄与する職業人を育成することを目指す

(7) 福祉に関する学び

福祉ニーズの高度化と多様化、倫理的課題やマネジメント能力・多職種協働の推進、ICT・介護ロボットの進歩などを踏まえ、福祉を通して、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人を育成することを目指す

第4章 今後のさらなる少子化を踏まえた産業教育の在り方

1 これからの産業教育における専門学科構成

6次産業化などの複合化が進み、産業界に求められる人材の多様化、専門学科の学びの在り方、学科構成など社会の変化への対応を考慮した検討の必要性

(1) 各学科の学びの連携と融合

- ① 専門学科
 - 一定の専門性を確保しつつ、他学科との連携、他の専門分野を学ぶ環境整備
 - 同一学科内における関連分野を複合的に学ぶ工夫
- ② 総合学科
 - 学校間の連携やICTを活用した遠隔教育の導入等により、専門分野の系列を相互に関連付けた学びの実践や多様な選択科目の開設の検討
- ③ 職業教育拠点校
 - 専門学科の集約、学科間連携の取組や地域パートナーシップ会議の設置など、地域と連携した実践的で協働的な教育活動の展開
 - 6次産業化を軸とした地域産業振興への貢献を目指し、学科間連携による先進的な産業教育を展開する方策の検討

(2) 新たな産業の創出を視野に入れた学び

- 複数の学科の教育内容を融合させた学科の検討
- ICTなど特定分野の専門的な学びを行う新たな学科の設置の検討

2 長期的視点に立った学びの在り方

(1) 地域づくりと産業教育

- 地域の期待に応え、地域産業の発展に貢献し、地元から支持され、地域の拠点となるような学校づくり
- 地域産業の発展をリードする人材の育成

(2) キャリア形成の変化への対応 ~高校卒業後(18歳以降)の学び~

- 就職後も生涯にわたって専門的かつ高度な学びを積み上げ、新しい知識及び技術を習得し続けるなど、社会や経済の変化に対応するためのリカレント教育